

地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

昭和十六年十二月二十一日 日本製鐵株式会社

技術研究所職員任命ニ當リ與ヘラ
レタル社長訓示

(昭和十六年十一月十五日)

敝ニ研究所建設委員會ヲ設ケラレ昨年五月二十八日第一回委員會ヲ開催セシ以來一年有餘依委員長始委員各位ノ熱誠ナル努力ニ依リ建設ニ關スル諸準備ヲ整ヘ兼ニ職制ヲ定メ既ニ一部ノ調査業務其ノ他ヲモ開始シ今回茲ニ分掌規程ノ制定、職員ノ任命ヲ見本格的ノ活動ニ入ラントスルニ至リシハ寔ニ同慶ニ堪ヘザル所ナリ

技術研究所ノ任務ノ重且大ナル所以ニ就テハ第一回建設委員會ノ席上ニ於テ前社長ヨリ懇々説述セラレシ所ニシテ再言ノ要ナシト思惟スルヲ以テ茲ニ將來ニ對スル希望ヲ開陳シ執務ノ資ニ供セントス

ル所ニシテ其ノ關係スル範圍頗ル廣汎ナリ而シテ研究實施ニハ逐次ノ順序階梯アルベキモ最終ノ目標ハ實地作業ニ於テ能率ノ優良製品ヲ獲ルニ在ルコトハ言フ俟タズ研究者ハ宜シク現場トノ連絡ヲ密接圓滑ニシ其ノ實際ヲ詳ニ自己研究ノ成果ヲ如何ニシテ實地作業ニ適用スベキヤニ就キ重大ナル關心ヲ有スルヲ要ス

一 前述ノ目的ヲ達成センガ爲ニ基礎的ニ研究スルコト固ヨリ緊要ニシテ之ヲ忽ニスベキニアラズト雖現時局ニ即應シ目前ニ解決ヲ迫ラレ急遽ニ成果ノ期待ヲ要スル研究事項亦尠シトセズ而モ人員、資材等ニハ限アリ長年月後ノ成功ノミニ偏セズ又目前ノ事象ノ解決ノミニ捉ハレズ獨斷主義ニ基キ緩急宜シキヲ得ル機特ニ留意ヲ望ム

一 當會社全般ノ研究能率ヲ十分ニ發揮センニハ所内ノ研究機關自ラ研究ヲ實施スルヲ以テ足レリトセズ各作業所ニ於ケル研究試驗機關及其ノ擔任者ハ勿論社外ノ研究機關及研究者ノ最良ナル活躍ニ期待セザルベカラズ此等研究機關、研究者トノ連絡ヲ密ニシ其ノ研究ノ計畫實施ノ狀況ヲ詳カニシテ適切ナル指導、利用ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

昭和十六年 社報 丙第十四號

一 技術研究所ハ社内ニ於ケル研究ノ最大權威トシテ指導的地位ニ立テ前途ノ如ク社内各研究試驗機關ノ遺憾ナキ活躍ヲ企圖セザルベカラズ然レトモ之ヲ實行ノ方法當ヲ得ザルニ於テハ却テ意志ノ疎隔ヲ求ム能率ヲ害スルニ至ル虞ナシトセズ社内各職ノ技術上ノ研究ニ就キ意見ヲ具申スベキコトヲ規定スルト共ニ本府關係部長其ノ他ヲ評議員タラシメシハ此等ノ關係ヲモ顧慮セシ結果ニ他ナラズ法ハ死物ナリ運用ノ妙ハ人ニ存ス宜シク之ヲ活用シテ能率ヲ十二分ニ發揮センコトヲ望ム

一 優秀ナル人的要素ガアラユル業務ノ基礎ニシテ研究實施ニ於テモ亦同様ナルハ論ヲ俟タズ技術研究所ヲシテ技術ノ普及技術員ノ養成ニ任ゼシムル所以亦茲ニ在リ深ク此ノ點ニ留意シ初級者ノ教育ニ努力スルヲ以テ是レリトセズ技術者ノ技術能力再訓練ニ就テモ其ノ方法ニ工夫ヲ施シ人材ノ育成ニ最大ノ效果ヲ擧ゲンコトヲ望ム

一 調査及發表ハ研究ノ進捗上徒勞經費ヲ省キ且新着想感得ノ資タルコト亦多言ヲ要セザル所ニシテ既ニ之ガ實行ノ緒ニ就キタルハ定ニ欣幸ニ堪ヘズ十分ニ其ノ機能ヲ發揮シ研究ノ爲有力ナル同伴タランコトヲ望ム

一 環境ノ心算等ガ研究ノ能率ヲ著シク左右スルモノナ

リトノ説ヲ爲シ研究者ノ行動ヲ甚ク放逸ナラシムルモノアリ儻々ナル研究、發明ニ當ニ此ノ如キ状態ノ許ニ實現セルモノニアラザルハ歴史ノ證明スル所ナリ殊ニ國民ノアラユル困苦ヲ忍ビ勤勞報國ニ精進セントスル現時情ニ禁ヲ研究者ノ操ルベキ態度ハ自ラ明カナルモノアルベシ宜シク思フ茲ニ茲ニ刻苦精勵重任ノ完遂ヲ期センコトヲ望ム

一 研究實行ノ施設ニ遺憾ナカラシムルコト固ヨリ緊要ナリト雖資材經費ノ不足セル現時局ニ於テ資材ヲ節シ經費ヲ省クコトニ就テハ深ク考慮スルヲ要ス殊ニ起居ニ關係アル設備ノ贅澤ニ流レザルコトニ就テハ嚴ニ自戒センコトヲ望ム

以上ハ既ニ各位ノ自覺シタルコトノミト信ズ而モ敢テ之ヲ陳述スルハ技術研究所ノ使命ノ重大ニシテ克服スベキ各種ノ困難ノ甚大ナルベキヲ痛感スルニ依ルヲ以テナリ學識高邁、經驗豊富而モ減私奉公ノ決意ヲ以テ老軀ヲ提ゲ所長ノ重任ヲ荷ハレタル依博士ヲ中心トシ我方製鐵界ニ劃期的技術ノ向上ヲ期センコトヲ切望ス

釜石製鐵所私書函設置

○釜石製鐵所ニ於テハ十一月十日ヨリ左記ノ通り私書函ヲ設置セリ